



本村幼稚園 1月の園だより

平成30年1月9日

港区立本村幼稚園長

山村 登洋

お正月の経験・体験が子供たちの成長につながる

園長 山村 登洋

明けましておめでとうございます。平成30年の幕開けです。本年もよろしく願いいたします。年末年始はご家族で楽しいお正月をお過ごしになったでしょうか。幼稚園の12月は餅つき、お楽しみ会と年の瀬の行事で大いに盛り上がりました。そして、年末年始のお休みには、子供たちは普段とは違う雰囲気ワクワクし、お正月でしか経験できない楽しい日々を過ごしたことでしょう。何事も子供は経験・体験が一番。新年のあいさつ、親族や親戚との集まり、おせち料理、初詣、お年玉、お正月の遊び（独楽回し、カルタ、すごろく、凧揚げ）、家のお手伝い、旅行などなど、お正月は経験・体験の宝庫ですね。この素晴らしい経験が、3学期の園生活でも必ず生かされると思います。



今月はなんと言っても来月2月3日に行われる「生活発表会」に向けての活動が大きな目標となってきます。この1年間での子供たちの成長ぶりを保護者、地域の皆様にご覧いただくために、ゆとりをもちながらこの1ヶ月間で子供たちのもっているポテンシャルをさらに高めたいと思っています。



また、今月の12日、15日には保育参加が予定されています。ご一緒に楽しみながら、日頃の子供たちの様子を大勢の皆様にご覧いただきたいです。



テーマは「正月遊びを楽しむ」です。例えば昨年から子供たちは独楽回しを頑

張っています。ひもを巻いて回す本格的な独楽回しに挑戦しています。「こうやると回るよ」と独楽の投げ方から、力の入れ方を私よりずっと上手にお友だちに教えている子供たちがいます。もちろん、回せた時も一緒に喜んでくれています。こんな光景が当日にも見られると嬉しいです。年末年始の体験が生かされ、生活発表会や保育参加で子供たちがより大きく成長している姿を早く見たいですね。

今月から来月にかけては、インフルエンザにかかりやすくなる時期です。昨年末は区内でも多くの学級閉鎖ができました。園でも手洗い、うがいを基本に体調管理にも気を付けていきたいと思えます。ご家庭でも引き続き子供たちの生活リズムを整え、病気等の早期発見、早期治療に努めてくださいますようご協力お願いします。